

英米文化研究会役員 (平成 25 年度)

会長：日影尚之 (2012 年 6 月～)

副会長：犬飼孝夫 (2012 年 6 月～)

理事：中右 実、中山 理

庶務：田中俊弘 (2012 年 6 月～)

会計：中道嘉彦 (2012 年 6 月～)

会計監査：望月正道 (2012 年 6 月～)

編集委員：Nicolai Struc、佐藤繭香、北原賢一 (2012 年 6 月～)

平成 25 年度の活動

平成 25 年

6 月 8 日 (土) 総会・記念講演

島田法子氏 (日本女子大学名誉教授) 「第二次大戦と日系人の強制収容——アメリカ民主主義を考える——」

6 月 15 日 (金) 『麗澤レビュー』第 19 号刊行

第 1 回例会

12 月 13 日 (金)

金田 拓会員 “Simulating an academic conference: empirical report of project-oriented class”

第 2 回例会

2 月 17 日 (月)

佐藤繭香会員 「20 世紀の女性参政権運動におけるアーツ・アンド・クラフツ運動の影響」

編集後記

今年も無事『麗澤レビュー』第20号を会員の皆様のご協力によってお届けすることができました。今号には、論文1本、研究ノートを5本掲載しております。内容も第二言語習得、英語教育、言語学、カナダ研究、アメリカ文化研究など多岐にわたっています。

この研究会では、毎年、研究会も2回開催し、総会のおりに行われる講演会には、毎回ゲスト・スピーカーをお招きしています。講演会は会員だけでなく、本学の学部生もよく講演会に参加するなどしており、学部生にもよい学びの場を提供しています。今年は、私自身も研究会でお話する機会をいただきましたが、様々な分野の研究者が集うこの研究会は、専門を同じとする研究者ばかりの研究会とはまた違う反応があり、私にとってもよい学びの場となっています。これからもますますこの研究会が発展することを願っています。

佐藤繭香

新緑眩しいキャンパスから、『麗澤レビュー』第20号をお届けいたします。今号も多彩な分野の研究成果を掲載することができました。ご執筆いただいた先生方には心より御礼申し上げます。さて、2014年春、我らが英語二専攻は4人の新しい仲間をお迎えいたしました。Bryan Hikari Hartzheim 助教

(Cinema and Media Studies)、武田淳助教(社会学)、小栗哲哉講師(英語学)、そして Richard John Walker 講師(TESOL)の4名の先生方です。専攻会議は共同研究室が満員で座る場所が足りず、毎回大喧嘩になります。それはもちろん嘘ですが(笑)、溢れるほどの活気が満ちていて、麗澤に新しい風が吹き始めたように感じる今日この頃です。麗澤大学英米文化研究会はますますにぎやかに、楽しいものになると確信しております！

北原賢一

麗澤大学英米文化研究会規約

- (1) 本会は「麗澤大学英米文化研究会」と称し、本部を千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 麗澤大学外国語学部英語二専攻共同研究室におく。
- (2) 本会の会員は、麗澤大学において英語・英米文化の教育・研究に携わる専任教員、あるいは会員1名の推薦を受け、会長の承認を得た者とする。
- (3) 本会に会長をおき、その任期を2年とし、再任をさまたげない。なお、会長の選出は、年次総会における会員の互選とする。
- (4) 本会に副会長(1名)、理事(2名)、庶務(1名)、会計(1名)、会計監査(1名)、編集委員(若干名)をおく。任期は2年として、再任をさまたげない。なお、その選出は、年次総会における会員の互選による。
- (5) 本会の会費は年2千円とする。ただし会員が学生の場合は年1千円とする。
- (6) 本会は、英米文化、言語全般および関連分野の研究を行うことを目的とし、以下の活動を行う。
 - 1) 研究発表会
年数回。随時発表者を決めて会員の研究発表会を行う。
 - 2) 年次総会
年1回(6月の土曜日)。内外より講演者を招き、特別講演会を開催する。
 - 3) 機関誌『麗澤レビュー』の発行

付則

- (1) この規約は、平成16年6月12日から改正、施行する。
- (2) この規約は、平成22年6月26日から改正、施行する。
- (3) この規約は、平成23年6月11日から改正、施行する。

平成26年6月15日発行

発行者 〒277-8686 柏市光ヶ丘2-1-1
麗澤大学外国語学部英語二専攻共同研究室気付
麗澤大学英米文化研究会
(電話) 04-7173-3074
印刷所 東京都足立区綾瀬2-26-7
昌美印刷株式会社
(電話) 03-3690-3196



Cover Design
by T. Murakami

Reitaku Society for
English & American Cultures